

ステークホルダーの皆様に提供・共有する価値

ステークホルダーの皆様との調和を図り、価値の好循環を生み出します

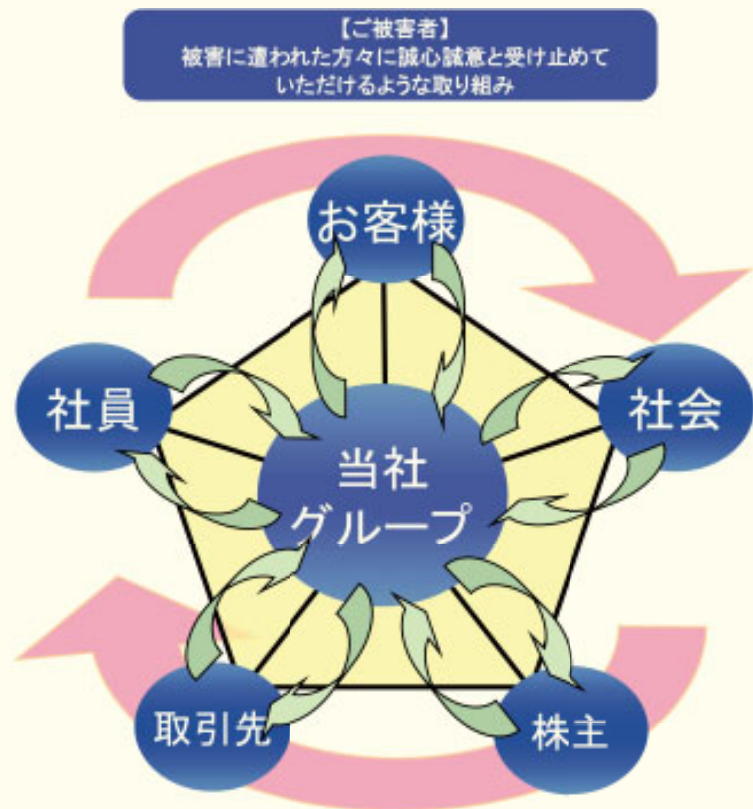
当社とステークホルダーの皆様との関係

価値の好循環

社員が、働きがいと誇りを持ってお客様に接し、質の高いサービスを提供することで、より多くのお客様の安心・信頼・満足につながり、西日本地域の活性化にも、貢献することができます。

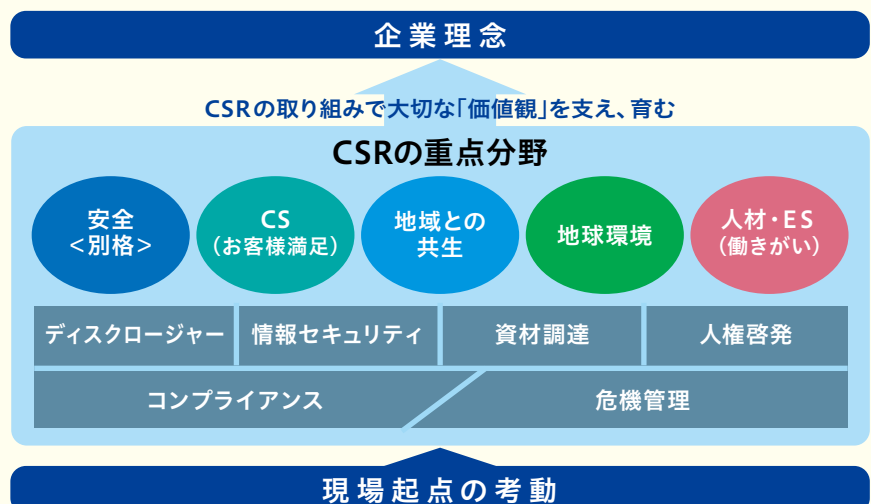
また、ご利用の対価として得た収益で事業持続可能性の担保が図られ、株主・取引先との信頼関係にもつながります。

以上のことを通じて、社員はさらなる働きがいと誇りを感じることができるという価値の好循環を図っていくという考えです。



11のCSR重点分野を定めています

「企業理念」に掲げた大切な価値観を支え、育てていくため、世の中の要請に照らして、最大の責任である「安全」をはじめとした11の分野を、CSRの重点分野に定めています。



社長を委員長としてCSRを推進しています

経営課題としてのCSRを一層推進するため、2006年6月から、社長を委員長とし、常勤取締役、常勤監査役、本社内関係部門長で構成するCSR推進委員会を開催するとともに、事務局としてCSR推進室を設置しています。

CSR推進委員会では各分野の取り組みの現状および課題につい

て、CSRの観点から包括的に検証し、必要な改善を図っています。なお、別格の取り組みである「安全」については、社長を最高責任者とし、安全に関わる業務を統括管理する安全統括管理者をはじめ、運転や乗務員指導などの管理者を明確化した安全管理体制の中で推進しています。

JR西日本CSRレポート2012(企業考動報告書)の編集方針

本レポートでは、JR西日本とJR西日本グループの考えや現状をステークホルダーの皆様にご理解いただくため、社員、役員、そして総体であるJR西日本グループが一体となって推進している「考動」を、CSRの重点分野である11分野に基づいてご報告しています。

冒頭では、CSRの考え方、トップコミットメント、ステークホルダー・ダイアログなどを、21ページ以降では「2011年度重点取り組み計画」に基づく具体的な取り組みをPDCAに即してご報告しています。

対象範囲	原則としてJR西日本単体 (取り組み事例にはグループ会社の取り組みを一部含みます。)
対象期間	2011年4月～2012年3月(取り組み事例には 上記期間以外のもの(直近は2012年10月まで)を 含みます。)
参考とした ガイドライン	環境省「環境報告ガイドライン(2007年版)」 GRI「サステナビリティ・レポート・ガイドライン 第3版(G3)」

企業情報を冊子・インターネットでご紹介しています



CSRレポート (企業考動報告書)

CSRの考え方や取り組みを
ご報告しています。



鉄道安全報告書

鉄道の安全性向上に向けた取り
組みについてご報告しています。



ファクトシート

経営・財務データをご覧いただけ
ます。



アニュアルレポート (英語版のみ)

アニュアルレポートをご覧いた
だけます。



企業ホームページ

<http://www.westjr.co.jp/>

事業紹介のほか、CSRレポート、鉄
道安全報告書、ファクトシート、ア
ニュアルレポートなどもこちらから
ご覧いただけます。

CONTENTS

経営に関する報告

- P01 JR西日本のCSR
- P03 ステークホルダーの皆様にご提供・共有する価値
- P05 JR西日本グループの事業活動～私たちの仕事～
- P06 JR西日本グループの概要
- P07 トップコミットメント
- P11 福知山線列車事故について
- P15 コーポレート・ガバナンス
- P17 特集：ステークホルダー・ダイアログ

取り組み報告

- P21 11分野の2011年度重点取り組み事項・実績
および2012年度重点取り組み計画

P25 安全

- P26 リスクアセスメントに基づく安全マネジメントの確立
- P27 事故から学ぶ教育の効果向上
- P28 安全を支える基盤づくり
- P29 安全関連投資

P31 CS (お客様満足)

- P32 ニーズを原点に、商品・サービスを提供
- P33 もっと満足していただける鉄道サービスへ
安全・安心を守るために
- P34 考動を重ねて、より良いサービスを現場から

P35 地域との共生

- P36 乗り換えやお買い物にも便利な、駅を中心としたまちづくり
地域の賑わいを生み出す観光開発
- P37 暮らしやすく、長く住んでいただける沿線の創造
- P38 地域とともにコミュニティの発展を目指す

P39 地球環境

- P39 環境目標
- P40 地球環境保護活動の取り組み
- P41 限りあるエネルギーを大切に、低炭素・資源循環型
社会の構築を目指す
- P42 事業内容に即した取り組みの推進
地域・他企業とともに、社会全体の環境保全に貢献

P43 人材・ES (働きがい)

- P44 多様な採用形態
実務能力向上と「考動」の実践を目指す
- P46 各種人事施策の推進を通じた働きやすい職場づくり

P47 経営を支える基盤の取り組み

- P47 コンプライアンス
- P49 危機管理
- P51 ディスクロージャー
- P52 情報セキュリティ
- P53 資材調達
- P54 人権啓発

P55 財務情報 (連結) ハイライト

- P57 第三者意見
- P58 ご意見を受けて